

令和8年度埼玉県がん教育等外部講師連携支援事業
埼玉県がん教育指導者研修会

【行政説明】

学校における「がん教育」について

令和8年8月21日（金）
～9月17日（木）

動画配信



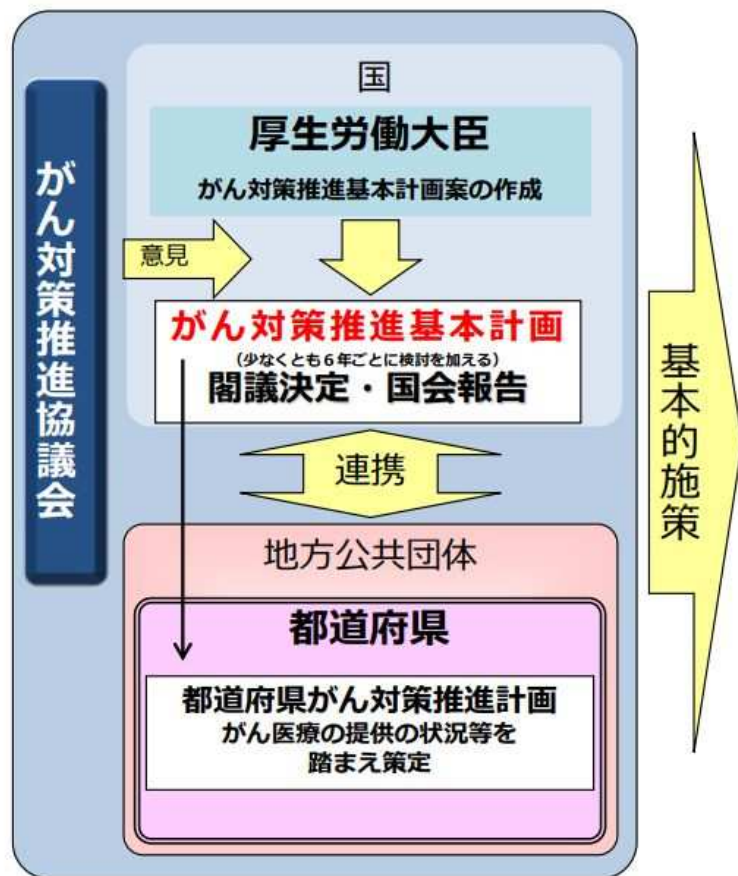
埼玉県マスコット「コバトン」

埼玉県教育局県立学校部保健体育課
指導主事 佐野 秀行

がん対策基本法（平成18年法律第98号）

（平成18年6月成立、平成19年4月施行、**平成28年12月改正・施行**）

がん対策を総合的かつ計画的に推進



第一節：がん予防及び早期発見の推進

- がんの予防の推進
- がん検診の質の向上等

第二節：がん医療の均てん化の促進等

- 専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の育成、医療機関の整備等
- がん患者の療養生活の質の維持向上
- がん医療に関する情報の収集提供体制の整備等

第三節：研究の推進等

- がんに関する研究の促進並びに研究成果の活用
- 罹患している者の少ないがん及び治療が特に困難であるがんに係る研究の促進 等

第四節：がん患者の就労等

- がん患者の雇用の継続等
- がん患者における学習と治療との両立
- 民間団体の活動に対する支援

第五節：がんに関する教育の推進

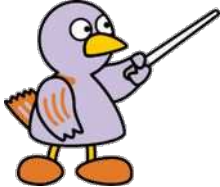
- 学校教育等におけるがんに関する教育の推進

（厚生労働省HPより）

がん対策基本法

(平成28年12月改正)

埼玉県マスコット「コバトン」



なぜ、がん教育を行うの？

第5節 がんに関する教育の推進

(第23条)

国及び地方公共団体は、国民が、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする。

(がん対策基本法)

がん対策推進基本計画

我が国において、がんは、昭和 56（1981）年より死因の第 1 位であり、令和 3（2021）年には、年間約 38 万人と約 3 人に 1 人ががんで亡くなっているほか、生涯のうちに約 2 人に 1 人が罹患^りすると推計されているなど、依然として、国民の生命と健康にとって重大な問題である。

（「がん対策推進基本計画」の「はじめに」より抜粋）

第 1 期基本計画	平成19年 6 月
第 2 期基本計画	平成24年 6 月
第 3 期基本計画	平成29年10月→平成30年 3 月に受動喫煙に関する個別目標追加
第 4 期基本計画	令和 5 年 3 月

（がん対策推進基本計画）

がん対策推進基本計画

第4期がん対策推進基本計画（令和5年3月28日閣議決定）概要

第1. 全体目標と分野別目標 / 第2. 分野別施策と個別目標

全体目標：「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」

「がん予防」分野の分野別目標

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

「がん医療」分野の分野別目標

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

「がんとの共生」分野の分野別目標

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

1. がん予防

- (1) がんの1次予防
 - ①生活習慣について
 - ②感染症対策について
- (2) がんの2次予防（がん検診）
 - ①受診率向上対策について
 - ②がん検診の精度管理等について
 - ③科学的根拠に基づくがん検診の実施について

2. がん医療

- (1) がん医療提供体制等
 - ①医療提供体制の均てん化・集約化について
 - ②がんゲノム医療について
 - ③手術療法・放射線療法・薬物療法について
 - ④チーム医療の推進について
 - ⑤がんのリハビリテーションについて
 - ⑥支持療法の推進について
 - ⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
 - ⑧妊孕性温存療法について
- (2) 希少がん及び難治性がん対策
- (3) 小児がん及びAYA世代のがん対策
- (4) 高齢者のがん対策
- (5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

3. がんとの共生

- (1) 相談支援及び情報提供
 - ①相談支援について
 - ②情報提供について
- (2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- (3) がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）
 - ①就労支援について
 - ②アピアランスケアについて
 - ③がん診断後の自殺対策について
 - ④その他の社会的な問題について
- (4) ライフステージに応じた療養環境への支援
 - ①小児・AYA世代について
 - ②高齢者について

4. これを支える基盤

- (1) 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
- (2) 人材育成の強化
- (3) **がん教育及びがんに関する知識の普及啓発**
- (4) がん登録の利活用の推進
- (5) 患者・市民参画の推進
- (6) デジタル化の推進

第3. がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

1. 関係者等の連携協力の更なる強化
2. 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策
3. 都道府県による計画の策定
4. 国民の努力
5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
6. 目標の達成状況の把握
7. 基本計画の見直し

（厚生労働省HPより）

第4期がん対策推進基本計画

(3) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

(現状・課題)

こどもが健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理するとともに、**がんに対する正しい知識、がん患者への理解及び命の大切さに対する認識を深める**ことが大切である。これらをより一層効果的なものとするため、**医師やがん患者・経験者等の外部講師を活用**し、こどもに、**生活習慣や遺伝子等のがんの発生に関する基本的な情報も含めたがんの正しい知識やがん患者・経験者の声を伝えることが重要**である。

国は、**学習指導要領に対応したがん教育を推進**するため、教材、指導参考資料、外部講師活用のガイドラインの改訂・周知を行うとともに、**外部講師の活用体制の整備や研修会の実施**など、地域の取組を支援している。しかし、地域によって取組状況に差があることから、**地域の実情に応じた取組が一層推進**されるよう、各地域の取組の成果を全国へ普及する必要がある。

(第4期がん対策推進基本計画より)

第4期がん対策推進基本計画

(取り組むべき施策)

国は、引き続き、学習指導要領に基づく、児童生徒の発達段階に応じたがん教育を推進する。その際、生活習慣が原因とならないがんもあることなど、がんに対する正しい知識が身に付くよう、医療従事者やがん患者等の外部講師の積極的な活用について周知を行うとともに、ICTの活用を推進するなど、各地域の実情に応じたがん教育の取組の充実とその成果の普及を図る。

国は、都道府県及び市町村において、教育委員会及び衛生主管部局が連携して会議体を設置し、地域のがん医療を担う医師や患者等の関係団体とも協力しながら、また、学校医やがん医療に携わる医師、がん患者・経験者等の外部講師を活用しながら、がん教育が実施されるよう、必要な支援を行う。

【個別目標】

国民ががん予防やがん検診による早期発見の重要性を認識するとともに、がんを正しく理解することを目指す。

(第4期がん対策推進基本計画より)

令和8年度 埼玉県がん教育等外部講師連携支援事業(がん教育推進計画)

(文部科学省委託 外部講師を活用したがん教育等現代的な課題理解増進事業)

背景

- ・平成28年12月に改正されたがん対策基本法第23条では、「国及び地方公共団体は、国民が、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする。」というがんに関する教育の推進についての文言が新たに記載された。
- ・がん対策推進基本計画では、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」ことを目標としている。
- ・学習指導要領の改訂に伴い、中学校及び高等学校の保健体育科において、がんについても取り扱うこととされたことを受け、現行の学習指導要領に対応したがん教育の実施について検討する必要がある。

- ・年間約38万人以上の国民ががんで死亡している。
- ・埼玉県のがん検診受診率が50%未満である。

課題

- ・がんについての正しい知識やがん患者に対する理解が不十分
- ・教材や外部講師を活用した指導の在り方、方法等の充実が必要

そこで、

がん教育に関する計画を作成し、作成した計画に基づき、がん教育に関する多様な取組を実施することにより、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい理解及び命の大切さに対する認識を深める。

がん教育推進連絡協議会

- 学習指導要領に対応したがん教育に関する計画作成について指導・助言をする。
(・教科等、授業展開方法の検討 ・外部講師の活用体制の整備 ・関連機関との連携等)
- 取組結果について、成果を検証する。
※がん教育推進連絡協議会に報告された実施結果を冊子にまとめ、県内の市町村教育委員会等へ配布するとともに、冊子のデータを県ホームページに掲載し、各学校がダウンロードして活用できるようにする。

【授業検討部会を含む構成員】
学校関係者(校長・教諭・養護教諭)、医療機関関係者(医師・薬剤師等)、学識経験者、がん経験者、行政関係者等

がん教育指導者研修会

- がん教育を推進していく教職員・外部講師を対象とした「がん教育指導者研修会」を開催し、効果的ながん教育の在り方についての研修を行う。

がん教育授業研究会

- 小学校、中学校及び高等学校において、授業公開による授業モデルの普及及び研究協議における効果的な指導方法についての検討を行う。



健康と命の大切さについて学ぶことを通して、自らの健康を適切に管理し改善していく資質・能力を育成する。
がんに対する正しい知識とがん患者への正しい理解及び命の大切さに対する認識を深める。



学校における保健教育の基本的な考え方が示されている。

学習指導要領の趣旨を踏まえ、学校現場ですぐに活用
することができるよう、Q & A方式で構成されている。

★県保健体育課HPにも掲載している。



I	学校における保健教育の必要性	P. 1
II	学習指導要領(体育・保健体育)の考え方	P.11
III	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	P.21
IV	授業づくりのポイント	P.30
V	学習指導要領に基づく指導と評価	P.43
VI	領域ごとの指導内容	P.70
VII	指導事例	P.83
VIII	参考文献等	P.115

がん教育 については、
P.74～76

2 がん教育

VI-2-Q

○がん教育の基本的な考え方や効果的な進め方は？

A-1. がん教育の基本的な考え方の背景には、がんが日本人の死因の第1位であり国民の生命と健康にとって重大な問題である一方、がんについての正しい知識やがん患者に対する理解が不十分であると課題として指摘されていることが挙げられます。

この課題の解決には、学校におけるがん教育により、「子供たちが健康と命の大切さについて学ぶことを通して、自らの健康を適切に管理し改善していく資質・能力を育成するとともに、がんに対する正しい知識とがん患者への正しい理解及び命の大切さに対する認識の深化を図ることが必要である」とするのが、がん教育の基本的な考え方です。

平成29・30年度の学習指導要領の改訂により、中学校及び高等学校の学習内容にがん教育が明確に位置付けられたことを踏まえ、学習指導要領に基づくがん教育を実施する必要があります。

また、学習指導要領に位置付けのない小学校についても、がん教育を実施することは大変意義深いことです。がん教育の定義や目的を踏まえて、全ての学校種で適切且つ効果的にがん教育に取り組んでいく必要があります。

【がんに関する知識の内容】

	小学校 (第6学年)	中学校(第2学年) ■がんについても取り扱うものとする	高等学校(入学年次又はその次の年次) ■がんについても取り扱うものとする
内 容	(3)病気の予防 (エ)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は健康を損なう原因となること	(1)健康な生活と疾病の予防 (ウ)生活習慣病などの予防 ・生活習慣の乱れと生活習慣病などとのつながり ・がんの予防 (エ)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・心身への様々な影響 ・健康を損なう原因 ・個人の心理状態や人間関係、社会環境などの要因に対する適切な対応	(1)現代社会と健康 (ウ)生活習慣病などの予防と回復 ↓解説から項目のみ抜粋↓ ・生活習慣病などの予防 ・がん検診の受診 ・がんの種類、原因、治療法、生活の質、緩和ケア ・個人の取組と社会的な対策 ・生活習慣病などの予防と回復としてのスポーツ

※学習指導要領解説 体育・保健体育編を基に作成



P.74参照

保健教育指導参考資料
なるほど！保健の授業
づくり ―令和4年度発行―
令和5年3月 埼玉県学校
保健会 埼玉県教育委員会

Ⅵ 領域ごとの指導内容

○学校におけるがん教育の在り方について報告（平成27年3月）

（学校におけるがん教育の基本的な考え方）

（略）学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようにすることが求められている。（略）

「がん教育」は、がんをほかの疾病等と区別して特別に扱うことが目的ではなく、がんを扱うことを通じて、ほかの様々な疾病の予防や望ましい生活習慣の確立等も含めた健康教育そのものの充実を図るものでなければならない。（略）

○がん教育の定義

がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育である。

○がん教育の目標

①がんについて正しく理解することができるようにする

がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心をもち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践力を育成する。また、がんを通じて様々な病気についても理解を深め、健康の保持増進に資する。

②健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする

がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気付き、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成する。



P.75参照



P.76参照

《がん教育に関する指導上の留意点》

- ◇学習指導要領・同解説に基づくがん教育の内容を確実に実施する。
- ◇「がんについての正しい理解」と「健康と命の大切さを主体的に考える」という2つの目標を踏まえ、児童生徒の発達段階に応じた効果的な指導を行う。
- ◇小児がんや重病・難病等の当事者や、家族などの身近にがん患者がいる又は亡くした児童生徒に対して、十分な配慮を行う。（家庭にたよりで周知、個別の配慮など）
- ◇学校医やがん専門医などの医療従事者やがん経験者等の外部講師と連携した取組など効果的な指導を実施する。その際、学校が主体となって進める。

小学校学習指導要領解説(体育科保健領域 第6学年)

(3) 病気の予防

知識に関する内容です。

ア 病気の予防について理解すること。

(ウ)生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付けることが必要であること。

(エ)喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。

【解説】

(ウ) 生活行動が主な要因となって起こる病気の予防

生活行動が主な要因となって起こる病気として、心臓や脳の血管が硬くなったりつまったりする病気、むし歯や歯ぐきの病気などを適宜取り上げ、(略) 健康によい生活習慣を身に付ける必要があることを理解できるようにする。

(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

ア 喫煙については、(略) 受動喫煙により周囲の人々の健康にも影響を及ぼすことを理解できるようにする。また、喫煙を長い間続けるとがんや心臓病などの病気にかかりやすくなるなどの影響があることについても触れるようにする。

その際、低年齢からの喫煙や飲酒は特に害が大きいことについても取り扱うようにし、未成年の喫煙や飲酒は法律によって禁止されていること、好奇心や周りからの誘いなどがきっかけで喫煙や飲酒を開始する場合があることについても触れるようにする。

(小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編より)

中学校学習指導要領解説(保健体育科保健分野 第2学年)

(1) 健康な生活と疾病の予防

【解説】

知識に関する内容です。

(ウ) 生活習慣病などの予防

ア 生活習慣病の予防

(略) その際、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足、喫煙、過度の飲酒などの不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、やせや肥満などを引き起こしたり、また、心臓や脳などの血管で動脈硬化が引き起こされたりすることや、歯肉に炎症等が起きたり歯を支える組織が損傷したりすることなど、様々な生活習慣病のリスクが高まることを理解できるようにする。

生活習慣病を予防するには、適度な運動を定期的に行うこと、毎日の食事における量や頻度、栄養素のバランスを整えること、喫煙や過度の飲酒をしないこと、口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることが有効であることを理解できるようにする。

① がんの予防

がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにする。

また、がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解できるようにする。

なお、ア、①の内容と関連させて、健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できることなどを取り上げ、疾病の回復についても触れるように配慮するものとする。

高等学校学習指導要領解説（科目保健 入学年次又はその次の年次）

（１）現代社会と健康

【解説】

知識に関する内容です。

（ウ）生活習慣病などの予防と回復

がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。

その際、がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。がんの回復においては、手術療法、化学療法（抗がん剤など）、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて適宜触れるようにする。

また、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。

なお、日常生活にスポーツを計画的に取り入れることは生活習慣病などの予防と回復に有効であること、また、運動や食事について性差による将来の健康課題があることについて取り上げるよう配慮する。

小学校学習指導要領解説(体育科保健領域 第6学年)

(3) 病気の予防

知識に関する内容です。

ア 病気の予防について理解すること。

(ウ)生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付けることが必要であること。

(エ)喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。

【解説】

(ウ)生活行動が主な要因となって起こる病気の予防

生活行動が主な要因となって起こる病気として、心臓や脳の血管が硬くなったりつまったりする病気、むし歯や歯ぐきの病気などを適宜取り上げ、(略)健康によい生活習慣を身に付ける必要があることを理解できるようにする。

(エ)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

⑦ 喫煙については、(略)受動喫煙により周囲の人々の健康にも影響を及ぼすことを理解できるようにする。また、喫煙を長い間続けるとがんや心臓病などの病気にかかりやすくなるなどの影響があることについても触れるようにする。

その際、低年齢からの喫煙や飲酒は特に害が大きいことについても取り扱うようにし、未成年の喫煙や飲酒は法律によって禁止されていること、好奇心や周りの人からの誘いなどがきっかけで喫煙や飲酒を開始する場合があることについても触れるようにする。

中学校学習指導要領解説(保健体育科保健分野 第2学年)

(1) 健康な生活と疾病の予防

知識に関する内容です。

【解説】

(ウ)生活習慣病などの予防

⑦ 生活習慣病の予防

(略)その際、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足、喫煙、過度の飲酒などの不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、やせや肥満などを引き起こしたり、また、心臓や脳などの血管で動脈硬化が引き起こされたりすることや、歯肉に炎症等が起きたり歯を支える組織が損傷したりすることなど、様々な生活習慣病のリスクが高まることを理解できるようにする。

生活習慣病を予防するには、適度な運動を定期的に行うこと、毎日の食事における量や頻度、栄養素のバランスを整えること、喫煙や過度の飲酒をしないこと、口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることが有効であることを理解できるようにする。

⑧ がんの予防

がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにする。

また、がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解できるようにする。

なお、⑦、⑧の内容と関連させて、健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できることなどを取り上げ、疾病の回復についても触れるように配慮するものとする。

高等学校学習指導要領解説(科目保健 入学年次又はその次の年次)

(1) 現代社会と健康

知識に関する内容です。

【解説】

(ウ)生活習慣病などの予防と回復

がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。

その際、がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。がんの回復においては、手術療法、化学療法(抗がん剤など)、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて適宜触れるようにする。

また、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。

なお、日常生活にスポーツを計画的に取り入れることは生活習慣病などの予防と回復に有効であること、また、運動や食事について性差による将来の健康課題があることについて取り上げるよう配慮する。

保健の知識については文末表現を確認する。
～理解できるようにする。
～触れるようにする。
～配慮する等)

(小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編より)

(中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編より)

(高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編 体育編より)

「保健」における「思考力、判断力、表現力等」の内容

小・中・高等学校学習指導要領解説(体育編・保健体育編)より抜粋

校種	体育科・保健体育科における「思考力、判断力、表現力等」に関する記述
小学校 (第6学年)	(3) 病気の予防 イ 思考力、判断力、表現力等 病気の予防に関わる事象から課題を見付け、病気を予防する視点から解決の方法を考え、適切な方法を選び、それらを説明することができるようにする。 〈例示〉 病気の予防や回復に関する課題について、学習したことを活用して解決の方法を考えたり、選んだりすること。
中学校 (第2学年)	(1) 健康な生活と疾病の予防 イ 思考力、判断力、表現力等 健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。 〈例示〉 生活習慣病及びがんの予防や、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、習得した知識を自他の生活と比較したり、活用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康の保持増進する方法を選択すること。
高等学校 (入学年次 又はその 次の年次)	(1) 健康な生活と疾病の予防 イ 思考力、判断力、表現力等 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法に関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 〈例示〉 生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理すること。

小・中・高等学校の保健の内容

小学校（保健領域）

「健康な生活」（３年）

- ・健康な生活
- ・１日の生活の仕方
- ・身の回りの環境

「体の発育・発達」（４年）

- ・体の発育・発達
- ・思春期の体の変化
- ・体をよりよく発育・発達させるための生活

「心の健康」（５年）

- ・心の発達
- ・心と体との密接な関係
- ・不安や悩みへの対処

「けがの防止」（５年）

- ・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止
- ・けがの手当

「病気の予防」（６年）

- ・病気の起こり方
- ・病原体が主な要因となって起こる病気の予防
- ・生活行動が主な要因となって起こる病気の予防
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康
- ・地域の様々な保健活動の取組

中学校（保健分野）

「健康な生活と疾病の予防」（１．２．３年）

- ・健康の成り立ちと疾病の発生要因
- ・生活習慣と健康
- ・生活習慣病などの予防
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康
- ・感染症の予防
- ・個人の健康を守る社会の取組

「心身の機能の発達と

心の健康」（１年）

- ・身体機能の発達と個人差
- ・生殖に関わる機能の成熟と適切な行動
- ・精神機能の発達と自己形成
- ・欲求やストレスへの対処と心の健康

「傷害の防止」（２年）

- ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因
- ・交通事故などによる傷害の防止
- ・自然災害による傷害の防止
- ・応急手当

「健康と環境」（３年）

- ・身体の問題に対する適応能力・至適範囲
- ・飲料水や空気の衛生的管理
- ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理

高等学校（科目保健）

「現代社会と健康」

- ・健康の考え方
- ・現代の感染症とその予防
- ・生活習慣病などの予防と回復
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康
- ・精神疾患の予防と回復

「安全な社会生活」

- ・安全な社会づくり
- ・応急手当

「生涯を通じる健康」

- ・生涯の各段階における健康
- ・労働と健康

「健康を支える環境づくり」

- ・環境と健康
- ・食品と健康
- ・保健・医療制度及び地域の保健医療機関
- ・様々な保健活動や社会的対策
- ・健康に関する環境づくりと社会参加

（原則として、入学年次及びその次の年次の２か年にわたり履修）

特別活動の内容（学級活動・ホームルーム活動）

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

* 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説より一部抜粋

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

* 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説より一部抜粋

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立

節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

* 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説より一部抜粋

（各校種 学習指導要領解説より）

がん教育の具体的な内容

ア がんとは(がんの要因等)

中

※高

イ がんの種類とその経過

高

ウ 我が国のがんの状況

※予備知識として

エ がんの予防

中

高

オ がんの早期発見・がん検診

※中

カ がんの治療法

※高

キ がん治療における緩和ケア

高

ク がん患者の生活の質

※高

ケ がん患者への理解と共生

特別活動・道徳等

外部講師を活用したがん教育ガイドライン

【はじめに】

(略)学校においてがん教育を実施するに当たっては、これらの目的や意義を地域・社会と共有し、**がん専門医をはじめとする医療従事者やがん経験者等、学校外の人材を積極的に活用することが重要である。**これらの**外部講師は特定の資格や認定を要するものではなく、多様な人材が参画し、それぞれの専門性やこれまでの経験を十分生かせるような指導の工夫を行うことにより、がん教育がより実践的で効果的なものとなることが期待される。**



外部講師を用いた
がん教育ガイドライン
(平成28年4月・
令和3年3月一部改訂)
文部科学省

外部講師を活用したがん教育の進め方

外部講師を活用したがん教育の進め方の基本方針

① 講師の専門性やこれまでの経験が十分に生かされるよう工夫する。

地域や学校の実情に応じて、学校医、がん専門医、がん患者やがん経験者等など、それぞれの専門性が十分生かせるような指導の工夫を行い、教員と十分な連携のもと外部講師を活用したがん教育を実施する。

② 学校教育活動全体で健康教育の一環として行う。

保健体育科を中心に学校の実情に応じて教育活動全体を通じて適切に行うことが大切である。学級担任や教科担任、保健主事などが中心となって健康教育の一環として企画するものであり、必要に応じ、養護教諭とも連携する。また、家庭や地域社会との連携を図りながら、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎が培われるよう配慮する。なお、効果的な指導を行うためには、学校保健計画に位置付けるなどして計画的に実施することが望ましい。

③ 発達段階を踏まえた指導を行う。

小学校では、主としてがんを通じて健康と命の大切さを育むことを主なねらいとする。中学校、高等学校では主として、科学的根拠に基づいた理解をすることを主なねらいとする。その際、各校種のねらいを踏まえ、発達段階を考慮し、外部講師を活用したがん教育を行うなどの工夫を行う。

外部講師を活用したがん教育の進め方

実施上の留意点

(1) 実施形態

[学校全体] [学年単位] [学級単位] などがある。

実施形態により、指導の内容や方法は変わる

(2) 外部講師

科学的根拠に基づいた理解：学校医・がん専門医・医療従事者
健康や命の大切さ：がん患者・がん経験者等

ねらいに応じた効果的な指導

- ・各教科担任が実施する授業と、専門家等の外部講師の協力を得て実施する学校行事等を関連させて指導することでより成果を上げるように留意する。
- ・ただし、それぞれの専門性は備えていても児童生徒に対する教育指導に関しては専門家ではないので、事前に講師候補者に対し、学習指導上の留意点について共有する。また、これらの関係者との連携は重要であるが、授業計画の作成に当たっては、授業を企画する教員が主体となるよう留意すべきである。
- ・がん患者・経験者の体験談は貴重であるが、家族に経験者がいる場合などには強い印象を与える可能性があることに留意しなければならない。
- ・教員と外部講師は事前事後で打合せを行うことで授業のねらいを押さえ教育効果を高めることが期待される。

外部講師を用いたがん教育ガイドライン(平成28年4月・令和3年3月一部改訂)文部科学省

教員(教科担任)と外部講師が連携したT.T(チーム・ティーチング)についても検討する

外部講師を活用したがん教育の進め方

実施上の留意点

(3) 配慮が必要な事項

がん教育の実施に当たっては、次のような事例に該当する児童生徒が把握できる場合はもとより、把握できない場合でも授業を展開する上で配慮が求められる。

- ・ 小児がんの当事者、小児がんにかかったことのある児童生徒がいる場合
- ・ 家族にがん患者がいる児童生徒や、家族をがんで亡くした児童生徒がいる場合
- ・ 生活習慣が主な原因とならないがんもあり、特に、これらのがん患者が身近にいる場合
- ・ がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある児童生徒や、家族に該当患者がいたり家族を亡くしたりした児童生徒がいる場合

なお、具体的な配慮の方法については、児童生徒の状況を最もよく把握している教職員(学校)が、学校全体の共通理解のもと、個別の状況に応じて検討を行う。その際、外部講師にも必要な情報を共有し、連携を図ることが大切である。

外部講師を活用したがん教育

A-2. がん教育の効果的な進め方としては、がん専門医をはじめとする医療従事者やがん経験者等の外部講師と連携した取組を実施することがあげられます。

外部講師と連携した取組も含めて、がん教育の実施に当たっては、次の点に留意して進めましょう。

また、QⅡ-4-(5)で示した内容と同様、十分な打ち合わせを行うことが必要です。その際、オンラインコミュニケーションツールの活用も効果的です。

○外部講師を用いたがん教育ガイドライン（令和3年3月一部改訂）、文部科学省（基本方針）

① 講師の専門性やこれまでの経験が十分に生かされるよう工夫する。

（略）それぞれの専門性が十分生かせるような指導の工夫を行い、教員と十分な連携のもと外部講師を活用したがん教育を実施する。

② 学校教育活動全体で健康教育の一環として行う。

保健体育科を中心に（略）教育活動全体を通じて適切に行うことが大切である。（略）健康教育の一環として企画するものであり、必要に応じ、養護教諭とも連携する。また、家庭や地域社会との連携を図りながら、生涯にわたって健康な生活を送るための基礎が培われるよう配慮する。（略）学校保健計画に位置付けるなどして計画的に実施することが望ましい。

③ 発達段階を踏まえた指導を行う。

小学校では、主としてがんを通じて健康と命の大切さを育むことを主なねらいとする。
中学校、高等学校では主として、科学的根拠に基づいた理解をすることを主なねらいとする。
その際、各校種のねらいを踏まえ、発達段階を考慮し、外部講師を活用したがん教育を行うなどの工夫を行う。



P.75参照

外部講師を活用したがん教育の進め方

(1) 実施形態

[学校全体] [学年単位] [学級単位] などがある。

実施形態により、指導の内容や方法は変わる

(2) 外部講師

科学的根拠に基づいた理解：学校医・がん専門医・医療従事者
健康や命の大切さ：がん患者・がん経験者等

ねらいに応じた効果的な指導

(実施上の留意点)

教員と外部講師によるTTについても検討する。

【外部講師】

- 各教科担任が実施する授業と、専門家等の外部講師の協力を得て実施する学校行事等に関連させて指導することでより成果を上げるように留意する。
- (略) 児童生徒に対する教育指導に関しては専門家ではないので、事前に講師候補者に対し、学習指導上の留意点について共有する。また、(略) 授業計画の作成に当たっては、授業を企画する教員が主体となるよう留意すべきである。
- がん患者・経験者の体験談は貴重であるが、家族に経験者がいる場合などには強い印象を与える可能性があることに留意しなければならない。
- 教員と外部講師は事前事後で打合せを行うことで(略)教育効果を高めることが期待される。

教職員(学校)が具体的な配慮の方法を検討し、外部講師と共有し、連携する。

(配慮事項)

がん教育の実施に当たっては、次のような事例に該当する児童生徒が把握できる場合はもとより、把握できない場合でも授業を展開する上で配慮が求められる。

小児がんの当事者／小児がんにかかったことがある／家族にがん患者がいる／家族をがんで亡くした／生活習慣が主な原因とならないがんもあり、特に、これらのがん患者が身近にいる／がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある／家族に該当患者がいたり家族を亡くしたりした など

P.76参照



保健教育指導参考資料
なるほど! 保健の授業
づくり 一令和4年度発行一
令和5年3月 埼玉県学校
保健会 埼玉県教育委員会

打ち合わせ(事前の共通理解) ※オンラインコミュニケーションツールの有効活用

【事前打ち合わせに係わる課題】

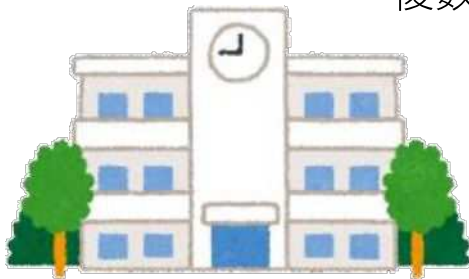
- ・電話やメール（ファイル添付）では不十分
 - ・当日の謝金（旅費）と別予算の確保が困難
 - ・実施日当日に初めて顔を合わせるため不安
 - ・時間調整（移動時間含む）が困難
 - ・互いに遠慮して、共通理解が図れない
 - ・共通理解ができず、講師に任せる形
- などの理由により、十分な打ち合わせができないまま当日を迎えてしまうことも…



Teams等（オンラインコミュニケーションツール）による事前打ち合わせ

場所を選ばない
時間や経費の削減（移動不要）
資料を提示した説明ができる
顔が見える
複数で話せる

とても効果的です。



学校の
ニーズ

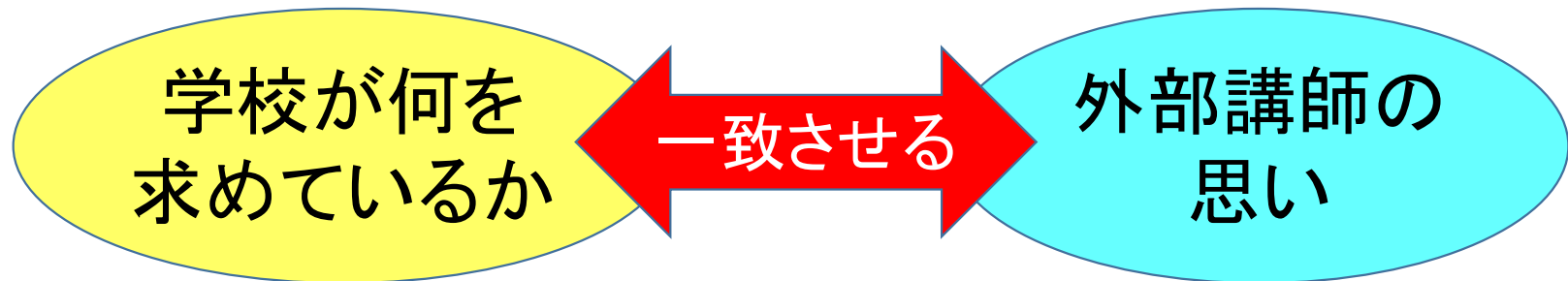
共通理解



外部講師の
思いや考え

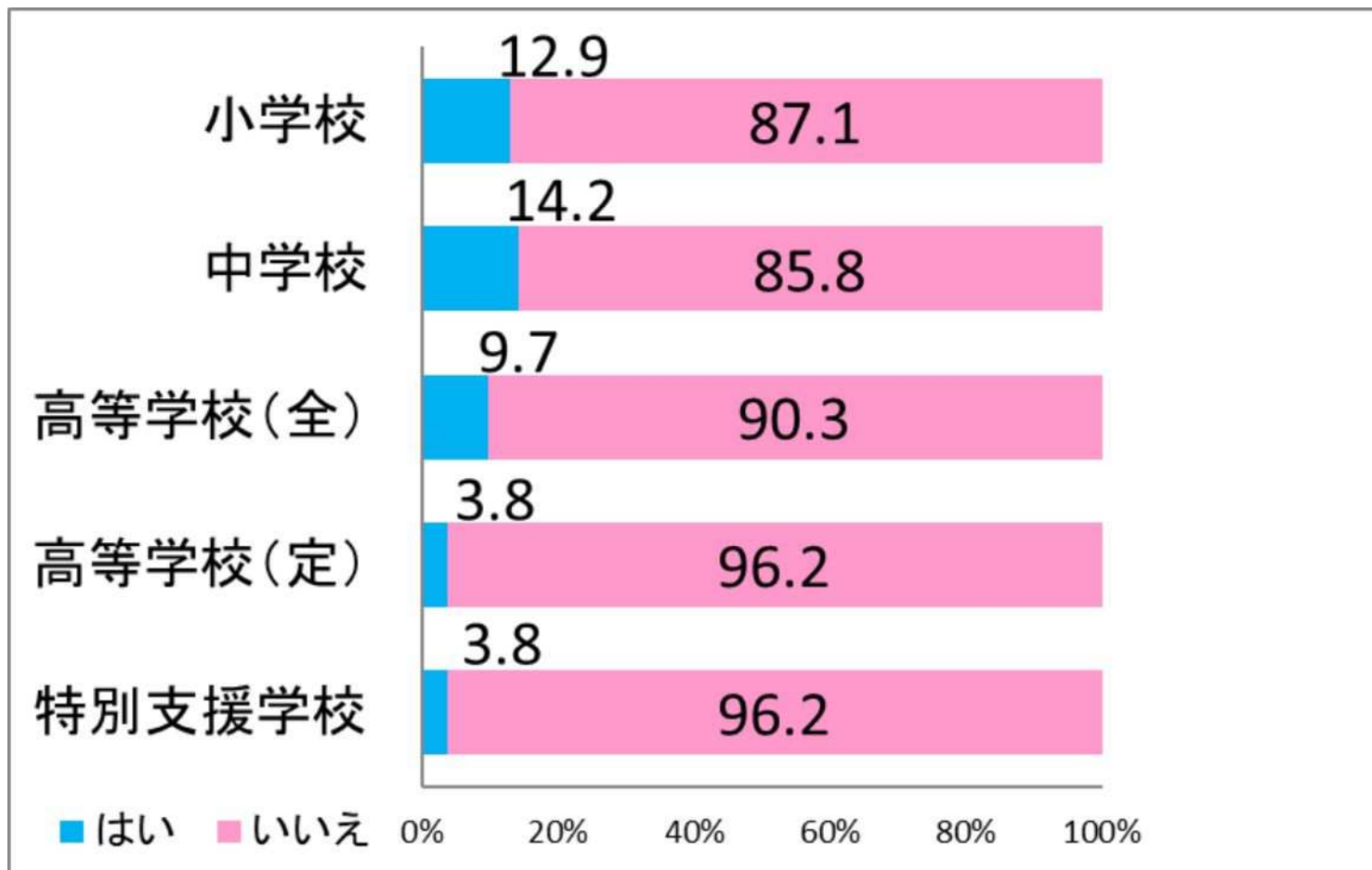
がん教育実施上の留意点

- がん患者・経験者の体験談は貴重であるが、家族に経験者がいる場合などには強い印象を与える可能性があることに留意しなければならない。
- 教員と外部講師は事前事後で打合せを行うことで、指導のねらいを共有し、教育効果を高めることが期待される。



本県のがん教育における外部講師の活用の状況

問 がん教育において外部講師を活用している



令和7年度「学校健康教育実践状況調査結果」より

本県のがん教育における外部講師の活用のために

令和8年2月13日付け教保体第1774号 「埼玉県がん教育外部講師リスト(令和8年度用)」の送付等 について(通知)

- ・学校から直接、リストに掲載されている外部講師へ連絡可。
- ・学校から直接、外部講師の依頼ができる。
- ・事務連絡文書に添付の打合せシートも活用できる。
- ・事務連絡文書に添付の講師派遣依頼文書ひな形も活用可。

教保体第1774-1号
令和8年2月13日

各市町村教育委員会教育長
各教育事務所(支所)長 } 様

埼玉県教育委員会教育長

「埼玉県がん教育外部講師リスト(令和8年度用)」の送付等について(通知)

日頃、本県におけるがん教育の推進に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

標記について、外部講師リストの掲載を更新しましたので、お知らせいたします。

つきましては、学校から直接、リストに掲載されている外部講師へ連絡することができますので、外部講師を活用したがん教育を推進する際に、下記について確認するとともに、別添の「埼玉県がん教育外部講師リスト(令和8年度用)」を積極的に活用ください。

各市町村教育委員会におかれましては、貴管下の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校へ周知の上、外部講師の積極的な活用が推進されるよう御配慮願います。

- 記
- 送付物 (1) 埼玉県外部講師リスト(令和8年度用)
(2) がん教育事務打ち合わせシート
(3) 派遣依頼文書(様式)(様式1、2)
 - 打合せ 学校が主体となって実施してください。その際、別添の打ち合わせシート等も効果的に活用ください。
 - その他 (1) 県では、令和8年度も文部科学省の委託事業(外部講師を活用したがん教育等代表的な健康増進推進事業)を受託する予定です。受託した際には、標記リストに掲載されている外部講師を活用した学校に対して、予算の範囲内で講師謝金を支払事業費から支出する事業を実施予定ですので、その場合には、改めてお知らせします。
(2) (1)の委託事業費から支出する外部講師謝金については、文部科学省の委託期間が満了となるため、令和8年9月から令和9年1月に、標記リストに掲載されている外部講師を活用した学校を対象に、予算の範囲内で実施する予定です。

担当： 県立学校部健康体育課
健康教育・学校安全担当 佐野 秀行
電話： 048-833-6963
E-mail: a0600-02pref.saitama.lg.jp

令和8年6月26日付け教保体第616号 埼玉県「がん教育等外部講師連携支援事業」の実施に伴う 外部講師派遣事業について(通知)

- ・外部講師の派遣に係る費用を県が負担。
 - ・第2期の申し込みが9月7日(月)～9月25日(金)
- ※第1期の申し込み状況によっては第2期の募集を行わない場合もあり

教保体第616-1号
令和8年6月26日

各市町村教育委員会教育長
各教育事務所(支所)長 } 様

埼玉県教育委員会教育長

埼玉県「がん教育等外部講師連携支援事業」の実施に伴う外部講師派遣事業
について(通知)

本県では、文部科学省の「現代的な健康課題(がん教育等)理解推進事業」を受託し、学校におけるがん教育の充実を図るため、より多くの学校が外部講師による専門的な授業を受けることができるよう、がん教育外部講師の派遣に係る費用を負担する事業を実施いたします。

つきましては、事業の活用を希望する場合は、下記のとおりお申し込みください。よろしくお願いいたします。

各市町村教育委員会におかれましては、貴管下の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校へ周知の上、外部講師の積極的な活用が推進されるよう御配慮願います。

- 記
- 申込期間 【第1期】 令和8年7月6日(月) ～ 7月31日(金)
【第2期】 令和8年9月7日(月) ～ 9月25日(金)
 - 申込方法 上記期間内に下記URL又は右記二次元コードより申込
<https://forms.office.com/r/A0WchYBwZ>
 - その他 (1) 外部講師活用事業は令和9年1月までに実施してください。
(2) 対象は、別添「埼玉県がん教育外部講師リスト」に掲載されている外部講師となります。
(3) 二次元コードよりお申込み後、保健体育課から学校に結果を通知いたします。(1期8月31日以後、2期9月28日以後)
(4) 外部講師の申し込み、日程調整、打ち合わせ等は学校で行ってください。(実施要項の「9.申し込みの流れ」参照)
(5) 予算の範囲内での事業実施となりますので、希望校が多い場合は地区や学校種に応じて調整をさせていただく場合がございます。第1期で募集予定校数を上回った場合は、第2期の募集を行わない場合もあります。
(6) 外部講師活用事業は10月以降に「【様式】実施報告書」を県立学校部健康体育課(担当：佐野)宛て電子メール(a0600-02pref.saitama.lg.jp)にてご提出ください。

担当： 県立学校部健康体育課
健康教育・学校安全担当 佐野 秀行
電話： 048-833-6963
E-mail: a0600-02pref.saitama.lg.jp

昨年度の授業研究会

ア 小学校授業研究会 上尾市立尾山台小学校

授業者 池澤 大樹 教諭・嶋 春菜 養護教諭

＋外部講師 儀賀先生

単 元 総合的な学習の時間「ロングロングライフデザイン」

イ 中学校授業研究会 越谷市立武蔵野中学校

授業者 鈴木 美紀 教諭・田邊 伸二 教諭

単 元 保健体育科(保健分野)

(1)健康な生活と疾病の予防 (ウ)生活習慣病などの予防

ウ 高等学校授業研究会 県立浦和西高等学校

授業者 瀬野 育美 教諭

単 元 保健体育科(科目保健)

(1)現代社会と健康 (ウ)生活習慣病などの予防と回復

がん教育に関する指導参考資料

◆文部科学省から

①「がん教育教材」及び「外部講師を用いたがん教育
ガイドライン」

②「がん教育教材」の指導案

③「がん教育推進のための教材 指導参考資料」

文部科学省の資料は、令和3年3月に一部改訂されました。

*「文部科学省HP」からダウンロード



映像教材

映像教材①

「がん博士の「がんについての基礎知識」
がんについての知識を伝える。



映像教材②

「がんと生きる」
がん患者の思いや考えを伝える。
※二名のエピソードのうち、どちらかを選択して
ご使用ください。

文部科学省HPより

がん教育推進のための教材 補助教材

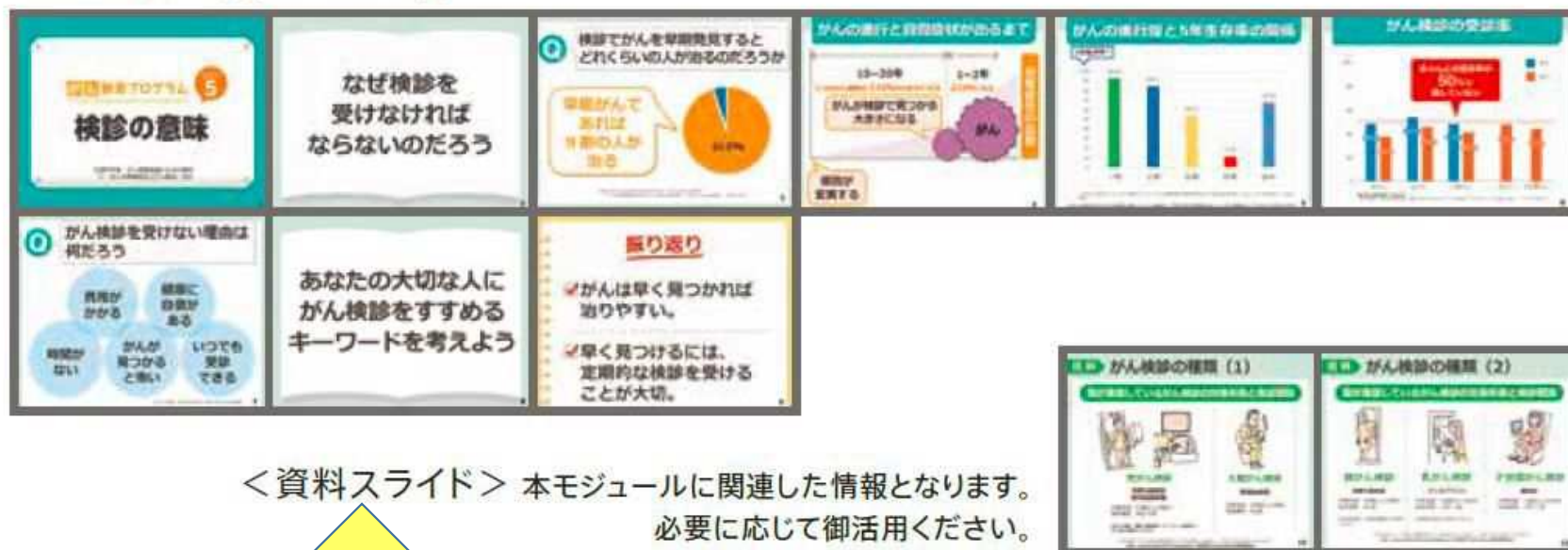
モジュール
5

検診の意味

15分

本モジュールでは、早期発見により約9割の人が治ることを知り、がん検診を受けることの大切さについて学びます。

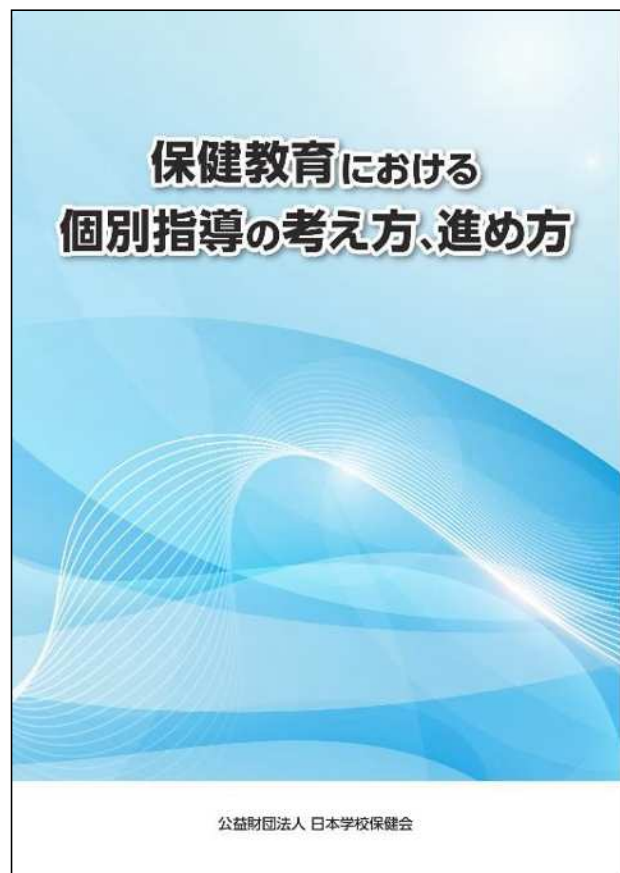
<スライド一覧> 全9枚



がん教育プログラム補助教材

文部科学省HPより

保健教育における個別指導の考え方、進め方



第2章 具体的な健康課題に対応した個別指導例

2 がんについて 指導例 がんについて理解を深める

P24～

対象生徒

- ・ がんに関する内容について、本人ががんの当事者、がん患者であった、家族にがん患者がいる、家族をがんで亡くした、生活習慣とは関係のないがん患者が身近にいるといった個別の事情があり、十分な理解が得られない、あるいは情意面での不安を残す生徒

等に対する指導の流れや指導上の配慮事項等が記載されている。

がん教育授業研究会について

令和8年度埼玉県がん教育授業研究会の開催

○小学校授業研究会 令和8年11月12日(木)
八潮市立大曽根小学校

○中学校授業研究会 令和8年11月10日(火)
熊谷市立荒川中学校

○高等学校授業研究会 令和8年11月25日(水)
県立三郷高等学校

がん教育について

埼玉県「がん教育総合支援事業」実施報告書

平成27年度～令和7年度

令和7年度 文部科学省委託

外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業



令和7年度
埼玉県「がん教育等外部講師連携支援事業」
実施報告書



埼玉県マスコット「コバトン」
「きいたまっち」

令和8年2月

埼玉県教育委員会

※県保健体育課HP参照



モデル校におけるこれまでの
授業実践(学習指導案など)
も掲載されています。

埼玉県教職員MOTTO（モットー）

未来を創る、こどもたち。

未来を育てる、わたしたち。

～ 未来への責任～

子供たちの
明るい未来と
健やかな成長
のために・・・



埼玉県マスコット「コバトン」

図書館でがん情報を入手する

～図書館のがん情報サービスのご紹介～

埼玉県立久喜図書館
自然科学・技術資料担当 司書 福士

健康・医療情報コーナー

詳細はこちら▼



本

入門書から専門書まで

- 病気・検査・治療について
- 薬・ジェネリック
- 食事療法・栄養学
- 医療施設・医師の情報
- メンタルヘルス ほか
- 漢方・中国医学
- 診療ガイドライン



約8,800冊

データベース

最新情報はデータベースで

- 医中誌Web（医学中央雑誌刊行会）
医学・歯学・薬学・看護学関係の国内の文献情報を収録
- 最新看護索引Web（医学中央雑誌刊行会）
看護の実践・研究・教育に関する文献情報を収録
- Jdream III（(株)ジー・サーチ）
日本最大級の科学技術文献データベース



雑誌

いま話題の情報なら雑誌で

- 『NHKきょうの健康』
- 『日経ヘルス』
- 『エキスパートナース』
- 『医学のあゆみ』
- 『総合リハビリテーション』 ほか

約60タイトル

パンフレット

- 医療関係機関が発行しているパンフレット・チラシを、ご自由にお持ち帰りいただけます。

文献入手

埼玉医科大学附属図書館
埼玉県立大学図書館 など

がん情報コーナー（平成26年3月設置）



図書

約500冊

入門書、専門書、
診療ガイドライン

がん情報コーナー



- 相談窓口・患者会の案内ちらし
- がん治療に関するパンフレット（専門機関発行）

健康・医療情報リサーチガイド



ダウンロードは
こちらから▼



@埼玉 改訂3版

健康・医療情報を調べる時に
役立つ図書やウェブサイトを
多数紹介！

AYA世代のがん教育
に関する情報も掲載！

疾病対策課／協力

ダウンロードは
こちらから▼



**がん情報
リサーチガイド
@埼玉**
埼玉県立久喜図書館

日本人の2人に1人がかかるといわれ、すべての人にとって身近な病気である「がん」。
がんと向き合うためには、正しい情報入手することが大切です。
知っておきたい情報や資料、その入手先などをご紹介します。

目次
p1 1 はじめに読みたいガイドブック
p2 2 がんの相談窓口 / 3 がんに関する図書
p3 4 がんのインターネット情報
p4 5 関係記を探す
p6 6 患者会を探す / 7 薬について調べる
p8 8 診療ガイドライン
p7 9 専門論文を探す
p10 10 埼玉県立久喜図書館の図書・医療情報サービス

1 はじめに読みたいガイドブック

『がんになったら手にとるガイド 患者必携 普及版』
（国立がん研究センターがん対策情報センター編著 学研メディアカル秀英社）
療養生活での不安・悩みへの対応や診療・治療について、患者さん、家族の
視点でまとめた本です。

「がん情報サービス」のウェブサイトで、最新版がダウンロードできます。
https://ganjoho.jp/public/gua_inika/book/public/hika02.html

がん情報についてまとまった
手に取りやすいガイド！

保健体育課／協力

ダウンロードは
こちらから▼



**あなたやあなたの大切な人が
がんになったら
AYA 世代の
がん情報の調べ方**

2人に1人になると言われる身近な病気、がん。
がん医療において、15～39歳ごろの世代は、AYA（若年成人）世代と呼ばれています。
この年代は、進学、就職、結婚といった様々なライフイベントが重なる
時期です。
多様な悩みを抱えているにもかかわらず、患者数が少ないこともあり、患者
さん自身だけでなく、医療関係者にも十分な情報があるとは言えません。
そこで、埼玉県立久喜図書館では、AYA 世代のがん情報の調べ方案内
「AYA 世代のがんについて知る」をまとめました。
図書館内で配布しているほか、ウェブサイトでも公開しています。

発行 埼玉県立久喜図書館
発行 埼玉県立久喜図書館
発行 埼玉県立久喜図書館

学生向けに信頼できる
がん情報を案内！

がんについて調べる際に役立つ情報を ウェブサイトで公開してます！

がん情報サービスの
詳細はこちら▼



Since 1922 **Saitama Prefectural Libraries** 埼玉県立図書館

文字サイズ 小 中 大 背景色 A A A サイト内検索 検索

WEBアンケート 施設案内 交通・アクセス サイトマップ 障害のある方へ Languages

あなたの調べものを記録します

利用案内 資料案内 調査・相談 (レファレンス) 分野別ガイド 図書館について

ホーム> 分野別ガイド> 健康・医療情報サービス> サービス各種> がん情報コーナー

がん情報コーナー



日本人の2人に1人が、一生のうちにがんになる可能性があるといわれています。
すべての人にとって、がんは身近な病気です。
がんの基礎知識から、各種がんに関する情報まで幅広く資料を集め、がんのことを知りたい方や治療中の方、そのご家族をサポートします。
相談窓口やがん治療に関するパンフレット類もご提供しています。
(最終更新:2026年6月17日)

サービス各種

- 腫瘍記コーナー
- 見て・聴いて・感じる読書コーナー 活字を読むのがむずかしい方のために
- 健康・医療関係継続雑誌
- 『がん情報リサーチガイド@埼玉』
- 『健康・医療情報リサーチガイド@埼玉 改訂3版』
- 健康・医療情報サービス

がん教育における図書館の活用方法

教材準備

調べものでお困りの際は、
埼玉県立図書館の
レファレンスサービス
もぜひ御活用ください！

詳しくはこちら▼



調べ学習

調べ学習の授業等で
埼玉県立図書館の
がん情報サービス
もぜひ御活用ください！



**ご清聴いただき
ありがとうございました！**





お気軽にご相談ください！

資料相談

司書が資料・情報探しのお手伝いをします

こんな情報がほしい、こんな本はないか・・・

お困りのときは、情報探しのプロ、司書がインターネット情報だけでは解決できない調べものをサポートします。
ご来館時はもちろん、電話、県立図書館ウェブサイトからもご質問を受け付けています。
利用される方のプライバシーを守ります。

こんなご質問にお答えしています

- 带状疱疹の症状と治療について知りたい。
- 医者から処方された薬の成分と副作用が知りたい。
- 認知症の症状や介護、また生活の不安について相談できるところを知りたい。
- 手術後のリハビリについて書かれた本を読みたい。
- 健康診断結果について検査値の読み方を知りたい。
- サプリメントの種類や有効性について知りたい。

健康・医療情報リサーチガイド@埼玉



健康・医療情報の調べ方のポイントやおすすめ図書、関連インターネット情報、専門・支援機関を、「病気」「薬」「医療機関」など、テーマごとにご紹介する小冊子を発行しています。

* 県立図書館館内で
無料配布中
PDF 版ダウンロード可能



各種調べ方案内・テーマ別資料リスト



テーマ別に基本的な資料リストや、調べ方をご紹介する案内リーフレットを発行して無料配布しています。

- がん ● 認知症 ● 不妊症
- 依存症 ● 発達障害 ● ほか

* 県立図書館館内で
無料配布中
PDF 版ダウンロード可能



健康・医療情報サービスのご利用について

- 資料・情報の提供のみを行います。
- 特定の治療法や医療機関をお勧めするものではありません。
- 病気や薬に関する知識・情報は日々変わっています。ここにある情報がすべてではありません。
- 司書は医学の専門家ではありませんので、病状の診断・治療等の判断をすることはできません。
- 健康・医療についての知識を深めたり、医師や医療機関と相談したりする材料としてご活用ください。

健康・医療情報サービスのページ

埼玉県立図書館ウェブサイトからも詳しい情報をご覧になれます

- サービスのご案内
- 「健康・医療情報リサーチガイド@埼玉」、各種資料リスト、調べ方案内のダウンロード
- 健康・医療に役立つリンク集
- 講演会、講座、資料展示等イベントのご案内



埼玉県立図書館ウェブサイト
健康・医療情報サービスページ
二次元コード

- ウェブサイトで資料の検索・予約ができます。
- 県立図書館の本は、お近くの市町村立図書館で取り寄せてご利用いただけます。
- 埼玉県立大学図書館（情報センター）、国立保健医療科学院図書館の本も取り寄せることができます。

自然科学と芸術・文学の

埼玉県立久喜図書館

〒346-8506

埼玉県久喜市下早見 85-5
電話 0480-21-2659（代表）
FAX 0480-21-2791

<https://www.lib.pref.saitama.jp/>

2025 年 6 月改訂



健康の悩みや不安があるときは・・・
図書館で解決のヒントを見つけよう！



埼玉県立久喜図書館

健康・医療情報サービスのご案内



ご自身の病気や飲んでいる薬、ご自分やご家族の健康管理について、自ら情報を探して判断したい、という方が増えています。

久喜図書館では、「健康・医療情報コーナー」を設置し、皆様にとって役立つ健康・医療情報に関する資料を集めました。

入門書から専門書まで豊富な図書、雑誌、さらにお持ち帰りいただけるパンフレット類を取りそろえ、皆様をお待ちしています。



本

入門書から専門書まで 約 8,800 冊！

- 基礎医学
- 病気・検査・治療
- 医療機関・医師
- 薬・サプリメント
- 食事療法・栄養学
- メンタルヘルス
- 看護学
- 漢方・中国医学
- 診療ガイドライン
- 医学事典・統計



雑誌

健康・医療関連 約 60 タイトル！

- 『NHK きょうの健康』
- 『チャイルドヘルス』 『そだちの科学』
- 『こころの科学』 『精神医学』
- 『薬のチェック』 『薬局』
- 『総合リハビリテーション』
- 『治療』 『内科』 『医学のあゆみ』
- 『メディカル・サイエンス・ダイジェスト』
- 『看護』 『エキスパートナース』
- 『ペリネイタルケア』 (ほか)



オンライン・データベース

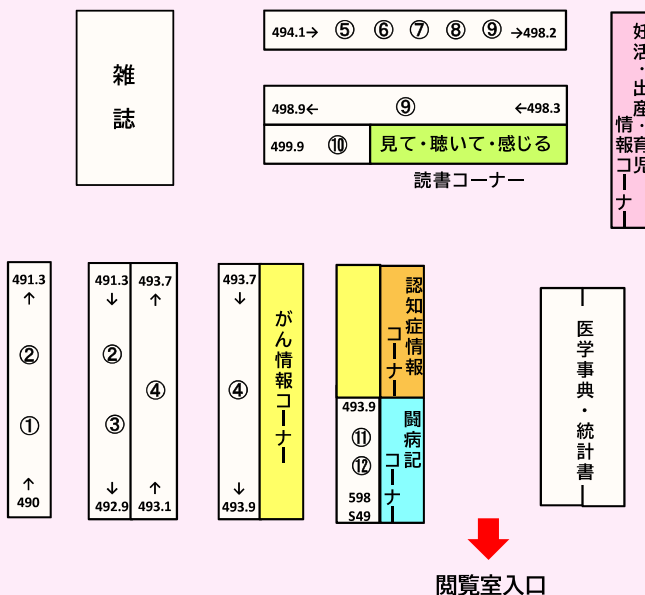
専門論文や研究情報を 探すときは

- 医中誌Web (医学中央雑誌刊行会)
医学・薬学・関連分野の国内約 1,600 万件の論文情報を検索できます。
- 最新看護索引Web (医学中央雑誌刊行会)
看護学の論文情報を検索することができます。
- JDr eamIII (株式会社ジー・サーチ)
日本最大級の科学技術文献データベース。



- 館内で、**無料**でお使いいただけます。
(プリントアウト 1 枚：白黒 10 円/カラー 30 円)
- ご希望により検索のしかたをご案内します。

健康・医療情報コーナーのご案内



No.	分野	ラベル番号	棚にある本の例
①	医学	490	脳死、医療エッセイなど
②	基礎医学	491	人体、解剖学、生理学、免疫学など
③	臨床医学	492	検査、診断、治療、理学療法、看護など
④	内科学	493	血液、内臓、精神・神経、小児など
⑤	外科学	494	手術、リハビリ、作業療法、皮膚など
⑥	婦人科学	495	女性の病気、子宮筋腫・内膜症など
⑦	眼科学・耳鼻咽喉科学	496	眼や耳、鼻、のどの病気など
⑧	歯科学	497	歯の病気、検査、治療など
⑨	衛生学・予防医学	498	医療制度、健康法、栄養、法医学など
⑩	薬学	499	薬、漢方薬、薬用植物など
⑪	家庭医学	598	家庭での療養・看護本
⑫	地域医療	S49 / 598	埼玉県での医療

パンフレット・ちらし

国・自治体・専門機関や団体が発行するパンフレットやちらしを幅広く集めています。無料で持ち帰ることも可能です。

特色ある 5 つのコーナーを常設しています

がん情報コーナー

がんの基礎知識や治療法、各種がん、診療ガイドラインなど、図書約 500 冊を揃えました。専門機関や相談窓口、患者会などのパンフレットも幅広く集めました。



認知症情報コーナー

認知症や回想法に関する図書や DVD、支援情報や近隣地域の「認知症ケアバス」など、パンフレット類を集めました。
※「認知症ケアバス」とは、市町村ごとに地域の具体的なケア内容や支援情報、機関名などをまとめたものです。



妊活・出産・育児情報コーナー

妊娠、出産、不妊治療（男女）、育児に関する図書や情報を集めました。相談窓口の案内や、不妊に悩む方をサポートする NPO 団体等の情報も提供しています。



見て・聴いて・感じる読書コーナー

活字が読みにくい方の読書をサポートする、マルチメディアデージーなど様々な読書支援ツールを紹介。発達障害関連図書・情報も集めています。



闘病記コーナー

病気や障害と向き合う勇気や知恵を与えてくれる、闘病記・体験記を集めました。



埼玉県立久喜図書館の 健康・医療情報サービス



入門書から専門書
まで約8800冊！
関連パンフレットや
資料リストも充実！



埼玉県立久喜図書館
自然科学・技術資料担当
0480-21-2659



裏面では、関連情報を調べるのに役立つ
「リサーチガイド」をご紹介します。

健康に関する情報、 病気について調べるのに 頼りになる2冊！



健康・医療情報リサーチガイド@埼玉



健康情報の見極めポイントや、
おすすめ図書、関連ウェブサイトが、がん・認知症などのテーマ
ごとにまとまっています。



がん情報リサーチガイド@埼玉

「がん情報」に特化した
リサーチガイド。
専門的な情報含め、
知りたい情報が満載！



令和6年10月31日発行

調べ方案内



AYA世代の がんについて知る

あや AYA 世代とは？

Adolescent and Young Adult (思春期と若年成人) の略で、おおむね 15～39 歳ごろの方が当てはまります。
この調べ方案内では、患者さんはもちろん、サポートする家族の方や一般の方にも AYA 世代のがんについて知っていただくための情報を幅広くご案内します。

1

AYA 世代
のがんを知る
ために
→ 2 ページへ

2

AYA 世代
がん患者の
お悩み
→ 3 ページへ

2-1

がんの症状
や治療法の
こと
→ 3 ページへ

2-2

学校や
仕事のこと
→ 4 ページへ



2-3

お金の
こと
→ 4 ページへ

2-4

性と結婚、
妊娠のこと
→ 5 ページへ

2-5

容姿のこと
→ 5 ページへ

2-6

闘病記は
病気に向き
合うヒント
→ 6 ページへ

2-7

不安や悩みに
向き合う
ヒントは
ウェブにも
→ 7 ページへ



3

相談する・
話を聞く

AYA 世代がん患者会・
支援団体の紹介
→ 7 ページへ

4

信頼できる
情報を探す
には？
→ 8 ページへ



1 AYA（あや）世代のがんを知るために

AYA世代は子どもから大人に移り変わる時期で、小児がんと成人がんの両方のがん種が存在します。また、進学、就職、結婚といったライフイベントが重なり、大きな転換期を迎える時期でもあります。



まずはこの本やウェブサイトを見てみよう



『保健の科学 2019年8月号』

(杏林書院 2019)

特集 AYA世代のがんを考える



『日本医師会雑誌 2021年12月』

(日本医師会 2021)

特集 AYA世代のがん患者の
包括的医療を目指して



『AYA世代がんサポートガイド
医療従事者が知っておきたい』

(「総合的な思春期・若年成人(AYA)世代の
がん対策のあり方に関する研究」班／編
金原出版 2018)



『がんになる前に知っておくこと
医師と看護師、経験者との15の対話』

(上原商会 2019)

がん診療を行う医師やがんサバイバーなど
15人との対話から、がんへの向き合い方を
考えるドキュメンタリー映画。



《国立がん研究センター東病院》

(<https://www.ncc.go.jp/jp/ncce>

国立がん研究センター東病院)

小児腫瘍科＞思春期・若年成人(AYA世代)に
発症するがん診療のページに、AYA世代の現状
や病院のサポート体制について詳しくまとめら
れている。

がん研 東病院



《一般社団法人 AYA がんの医療と
支援のあり方研究会 (AYA 研)》

(<https://aya-ken.jp/> 一般社団法人 AYA がんの
医療と支援のあり方研究会)

AYA世代のがん医療と支援の向上を目指して、
医療者、研究者、患者、家族などが協働する
研究会。

AYA 研



記号の
意味



図書



専門的な図書



雑誌



インターネット情報



熊谷図書館所蔵資料 (マーク無しは久喜図書館所蔵)



DVD

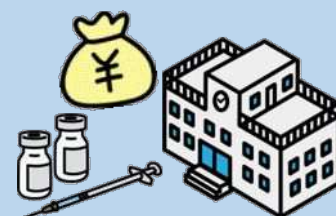
※県立図書館の資料は、県内の公共図書館に取り寄せできます。お近くの図書館にご相談ください。

2 AYA（あや）世代 がん患者のお悩み

「総合的な思春期・若年成人（AYA）世代のがん対策のあり方に関する研究」※によると、AYA 世代がん患者の悩み事には、

- ・今後の**自分の将来**のこと
- ・**診断、治療**のこと
- ・**仕事**のこと
- ・**不妊治療や生殖医療**に関すること
- ・**経済的**なこと
- ・**後遺症、合併症**のこと

など、ライフステージに応じた様々な悩みがあげられています。



※ 『AYA 改訂第1版』（「総合的な思春期・若年成人（AYA）世代のがん対策のあり方に関する研究」班／編 一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会 2021 <https://aya-ken.jp/archives/9534>）

2-1 がんの症状や治療法のこと

各種がんの基礎知識や治療について知りたいときはこちらをチェック！
どんな図書やウェブサイトがあるのか、わかりやすく紹介しています。

『がん情報リサーチガイド@埼玉』

（埼玉県立久喜図書館 2022）

信頼できるがん情報の探しかたをまとめた1冊。

『テーマ別資料リスト

「がん、もっと知りたい!」』

（埼玉県立久喜図書館 2019）



《がん情報サービス》

（<https://ganjoho.jp/public/index.html>）

国立がん研究センター）

一般向け、医療関係者向けに各種がんの解説、予防・検診方法、標準治療など様々な情報を提供しており、AYA 世代向けのページもある。検査や治療、治療後のことなど、解説や専門サイトへのリンクもある。

上記2つは県立図書館
ウェブサイトから
ダウンロードできます



<https://www.lib.pref.saitama.jp/guide/health/service/hearth-index.html>



がん情報



他にも《**がんと学校**》や《**がんと仕事**》のページがあり、病院にある学校（院内学級）の紹介や復職後の働き方など、役立つ制度やサービスを Q&A 形式で紹介しています。

<https://ganjoho.jp/public/institution/qa/index.html>

《がんと学校》



<https://ganjoho.jp/public/institution/school/index.html>

《がんと仕事》



2-2 学校や仕事のこと



《高校生活とがん治療の両立のための教育サポートブック》

(<https://sites.google.com/nnh.go.jp/aya-shien?pli=1> 「AYA 世代がん患者に対する精神心理的支援プログラムおよび高校教育の提供方法の開発と実用化に関する研究」班)

入院中の学業継続に向けた相談の流れや、復学に向けた準備のポイント等を紹介。

高校生活 がん



1 番下まで
スクロールすると
ダウンロードページ
へのリンクあり



『診断されたらはじめに見る がんと仕事のQ & A 第3版』

(野澤桂子ほか／編集 国立がん研究センター
がん対策情報センター 2019)

休職と復職、治療と仕事の両立、健康保険
などについて Q&A を多数掲載。

ウェブサイトから全文無料で閲覧可能。



『がん経験者のための就活ブック 第3版』

(HOPEプロジェクト・CSRプロジェクト
／編 合同出版 2015)

がん経験者が直面する就活の困難、
心構えや対処法までを具体的に解説。

2-3 お金のこと



『まず知っておきたい！がん治療 のお金、医療サービス事典』

(山崎知子／編 全日本病院出版会 2021)

がんの治療費や使える医療サービスに
ついて、医師、看護師、薬剤師、
ソーシャルワーカー等が丁寧に解説。



『国立がんセンターの がんとお金の本』

(片井均／ほか監修 小学館クリエイティブ
2016)

五大がん（胃がん、大腸がん、肺がん、肝が
ん、乳がん）の検査・治療にかかるお金と公
的助成制度について解説。



『安心してがんと闘うために 知っておきたいお金の実際 がんになったらいくらかかるのか？』

(内田茂樹／著 主婦の友社 2015)

ファイナンシャルプランナーの著者が具体
例に基づき医療費について解説。



《がん制度ドック》

(<https://www.qanseido.com/>

NPO 法人がんと暮らしを考える会)

ファイナンシャルプランナーや社会保険労務
士、看護師等が作成した自分に合った公的支
援制度や民間保険の診断ツールを提供。



がん制度ドック



2-4 性と結婚、妊娠のこと



『がん患者のセックス』

(長谷川まり子／著 光文社 2010)
がん患者の性の悩みに応える数少ない
1冊。



『乳がん患者の妊娠・出産と 生殖医療に関する診療の手引き 2017年版』

(日本がん・生殖医療学会／編 金原出版
2017)



《若年性がん患者が作る！ 若年性がん患者のための情報マガジン STAND UP!! フリーペーパー6号》

(http://standupdreams.com/wp-content/uploads/vol_06.pdf STAND UP!!)
座談会 結婚した若年性がん患者が語る本音
若年性がん経験者が結婚の体験談を紹介。

STAND UP がん



『小児、思春期・若年がん患者の 妊孕性（にんようせい）※温存に 関する診療ガイドライン

2017年版』

※妊娠のしやすさのこと
(日本癌治療学会／編 金原出版 2017)



《特定非営利活動法人 日本がん・生殖 医療学会 がん治療と妊娠》

(<http://j-sfp.org/> 特定非営利活動法人
日本がん・生殖医療学会)

がん患者の妊孕性に関する情報が充実した
ウェブサイト。

がん治療と妊娠



2-5 容姿のこと



『女性のがんと外見ケア 治療中でも自分らしく』

(分田貴子／著 法研 2018)
治療に伴う副作用や見た目の変化とケアにつ
いて、Q&A形式で解説。



『がん治療中の女性のための L I F E & B e a u t y』

(さとう桜子／著 主婦の友社 2017)
治療中の女性の悩みに役立つ、スキンケアや
メイク、ヘアケアの方法を解説。



『がん治療におけるアピアランス ケア※ガイドライン 2021年版』

※治療に伴うアピアランス（外見）の変化
をケアすること
(日本がんサポーターズケア学会／編
金原出版 2021)



《国立がん研究センター アピアランス支援センター》

(<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/appearance/> 国立がん研究センター中央病院)
がんや、がん治療による外見の変化に関する
悩みを抱えた患者さんの相談に応じている。

がん研 アピアランス



『臨床で活かすがん患者の アピアランスケア』

(野澤桂子ほか／編集 南山堂 2017)

2-6 闘病記は病気に向き合うヒント

白血病

『いつか、未来で 白血病ユーチューバーが伝えたいこと』

(にゅーいん／著 主婦と生活社 2022)

『経営コンサルタントでワーキングマザーの私がガンにかかったら』

(山添真喜子／著 東洋経済新報社 2021)

胚細胞 腫瘍

『「がんになって良かった」と言いたい』

(山口雄也ほか／著 徳間書店 2020)

リンパ腫

『大介・二十二歳の軌跡 「がん」と闘った青春』

(戸沢富雄／著 萌文社 1996)

骨肉腫

『僕は絶対あきらめない

車いすテニスに夢をかけた 22 歳の生と死』

(竹畠明聡、竹畠伊知郎／著 麗澤大学出版会 2011)

脳腫瘍

『十六歳のモーツァルト 天才作曲家・加藤旭が遺したもの』

(小倉孝保／著 KADOKAWA 2021)

乳がん

『乳癌日記』(夢野かつき／著 廣済堂出版 2020)

『女子と乳がん』(松さや香／著 扶桑社 2017)

子宮がん

『神様に生かされた理由 23歳で子宮頸がんを宣告されて。』

(阿南里恵／著 合同出版 2015)

『子宮会議』(洞口依子／著 小学館 2007)

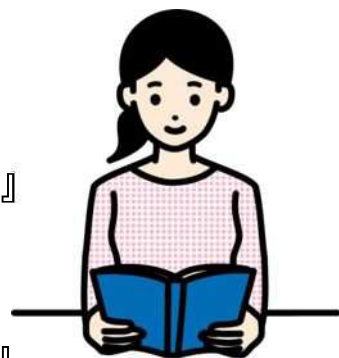
横紋筋 肉腫

『^{あした}明日もまた生きていこう 十八歳でがん宣告を受けた私』

(横山友美佳／著 マガジンハウス 2008)

腎臓がん

『命はそんなにやわじゃない』(杉浦貴之／著 かんき出版 2011)



闘病記コーナーのご案内

闘病記とは、患者さんやその家族が綴った病気の体験記です。久喜図書館の闘病記コーナーでは、上記の資料以外にも、さまざまな病気の闘病記を集めています。一般的な医学書には書かれていないような、病気と向き合う勇気や知恵を得られるかもしれません。

※闘病記は個人の主観に基づいて書かれており、発行年が古いものもあります。治療法などは医学書を確認しましょう。

2-7 不安や悩みに向き合うヒントはウェブにも



《AYA Life》(<https://aya-life.jp/index.html> 中外製薬株式会社)

体験談のほか、悩み事を専門家が一緒に考えるページ、関連団体紹介など、AYA 世代に関する情報が充実したウェブサイト。



《AYA 世代のがんとくらしサポート》

(<https://plaza.umin.ac.jp/~aya-support/>)

AYA 世代のがんとくらしサポート)

がんが心やからだ、暮らしに与える影響を、学校や仕事、家族などのトピックごとに紹介している。様々な悩みに対処するときのヒントや体験談も掲載。



《がんノート》(<http://gannote.com/> NPO 法人がんノート)

がん経験者によるがん患者のためのインタビューWeb番組「がんノート」。患者のリアルな情報を発信している。



3 相談する・話を聞く – AYA世代がん患者会・支援団体の紹介

患者会・支援団体では悩みを話す場を提供したり、病気や治療、日常生活などの情報交換をしています。同じ病気で集まった人たちとのつながりや交流は不安な気持ちを軽くし、心の支えとなってくれるでしょう。



● AYA GENERATION+group

(<https://agutas.com/>) 神奈川県

交流会やイベントを通して、AYA 世代のがん患者に向けた様々な課題解決と居場所づくりを行う患者コミュニティ。



● emaremo 東京都

(<https://emaremo.wixsite.com/website>)

白血病やリンパ腫、MDS 等の血液がん患者向けの新しいオンラインコミュニティ。参加年齢層は AYA 世代が約 7 割。



● オレンジティ

(<http://o-tea.org/wp-content/uploads/2017/08/AYA2017-2.pdf>)

静岡と東京で女性の若年性のがん体験者のためのおしゃべりルーム (オレンジブロッサム Cafe) を開いている。(東京は婦人科がん限定)



● 若年がん患者会 ローズマリー

(<http://rosemaryjp.net/>) 神奈川県

16 歳から 40 歳までにがんを発症した経験者のための会。



● STAND UP!! 東京都

(<http://standupdreams.com/>)

39 歳までにがんにかかった若年性がん患者による、若年性がん患者のための団体。



● Pink Ring 東京都

(<http://www.pinkring.info/>)

20 代、30 代で乳がんを経験した若年性乳がん体験者をサポートするがん患者支援団体。



4 信頼できる情報を探すには？

健康・医療情報を見極めるポイント

か 書いたのは誰か、発信しているのは誰か？

→信頼できる専門家または組織か

ち 違う情報と比べたか？

→別の人が書いた情報と違う点はないか

も 元ネタ（根拠）は何か？

→出典や引用文献が示されているか

な 何のための情報か？

→商業目的の広告など、誰かの利益のために誘導されていないか

い いつの情報か？

→ウェブサイトの作成日や更新日、本の出版年を見て、最新の情報が



出典 健康を決める力“ヘルスリテラシー”を身につける（中山和弘（聖路加国際大学））
<https://www.healthliteracy.jp>

オンラインデータベースでは最新の論文が探せます



久喜図書館で提供しているデータベースを使えば、最新の治療や研究成果について書かれた医学論文の情報を手軽に検索できます。

医療情報を
探すなら
この3つ！

- 医中誌 Web（医学中央雑誌刊行会）
- 最新看護索引 Web（医学中央雑誌刊行会）
- JDreamIII（ジー・サーチ）

久喜図書館がん情報コーナーのご案内

館内「健康・医療情報コーナー」に常設！

がん全般の基礎知識から各種がんの情報まで、図書約 500 冊を集めたコーナーです。相談窓口や専門機関、患者会から入手したパンフレットも豊富に取り揃え、これからがんのことを知りたいという方や、治療中の方、そのご家族をサポートします。

